



## 1 終戦当時の田検小学校Ⅱ

(昌谷 昭さんの追憶記より)

田検小に昭和21年4月から昭和25年8月まで勤務されていた昌谷昭さん(教員)の追憶記の後半(「第17号」の続き)を紹介します。

最初の一年くらいは、極度に食糧事情が悪く、弁当などを持って来れる状態ではなかったのに、午前中で授業を切り上げて、職員も児童も(午後)増産に励むものでした。私もなれない手つきで田畑を耕したり、荒れ地を開墾したりして増産に励んで、農業の尊さを身に沁みて感じました。

他所から来られた先生方のご苦勞は並大抵ではなく、そてつ畑等を借りて飢えをしのぐ状態でした。

その時代の(教員)の月給が30代で300円から400円くらいで、当時の人夫賃一日分にしか当たらなかったのと比較しても、当時の職員がいかにもじめめであったか想像されると思います。

従って教員の希望者等は無く、また他の職に転向する人もいて教員の不足する時がたびたびでした。そんな時には、校区の適任者を校長から依頼され、いろいろ勧誘して歩き、採用してもらったことなどは、現在の就職難の時は考えも及ばないことでした。

当時、私は30歳代で中堅だということで高学年の担任ばかりでしたので、時の泰江校長にお願いして3年と1年を担任させてもらいました。永い教員生活の中で(それぞれ)1回ずつだったので強く印象に残っています。

特に1年生は、最初の1ヶ月間は言葉やしつけ面の苦勞が多いが、日々伸びゆく姿がはっきりと分かるたのしみは、教師ならではの感を深くしました。後に校長になってから1年生の担任を決める時の説得力に役立ったと思います。

食糧が乏しい中で、教員と児童らは、午後は農作

業に励みながら作物を作り、飢えをしのぐ生活をしていたことがわかります。



田検小学校前 昭和22年

【『創立百周年記念誌』(昭和55年11月11日発行)より】

## 2 田検小学校の「鼓笛隊」は、いつから?

現在、4年生以上の子どもたちが「総合的な学習の時間」を中心に取り組んでいる鼓笛隊の演奏活動は、いつ頃から始まったのでしょうか?

学校沿革誌を細かく調べてみたところ、

昭和36年7月7日

田検小学校鼓笛隊創始(創立80周年記念事業として)

と記録されていました。そして、そのすぐ横の行には、

昭和36年7月7日

義宮殿下、宇検村田検において昆虫採集の際、校長室において休憩なされ、御昼食をとられる。鼓笛隊と記念撮影。

という記録もありました。

義宮殿下は、1935年(昭和10年)11月28日、昭和天皇の第二男児として誕生され、現在78歳。今の天皇の弟。動物学が御専門だそうです。26歳の時に昆虫採集の途中で来校された殿下は、鼓笛隊の演奏を聴いてくださったと思われま。子どもたちや職員と記念撮影。子どもたちは、手に楽器を持ち写っています。



昭和36年7月 義宮殿下ご来校

【『創立百周年記念誌』(昭和55年11月11日発行)より】(文責:福田裕生)